

重度障がい児者 コミュニケーション 支援者 サポーター養成を目指します！！

【開催趣旨】 障がいが重い人とのコミュニケーションはどのように図ることができるでしょうか？

重度障がい児者のコミュニケーション機器の特徴と有用性、視線入力装置の有効活用など、コミュニケーション機器を使用することによってどのようなQOLの向上に繋がり、どのような有益性があるのか等の理解を踏まえ、この研修会は、個々の力に応じた内容に編集をすることが可能なソフト、トビーコミュニケーターの編集方法を学び、地域で支援者をサポートする人材の養成を目指しています。

■日 時 : 8月1日(土) *札幌; 11/21、広島; 12/12、大阪; 2016.1/23 順次ご案内します

■東京会場: 京都大学東京オフィス東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟27階

■主 催 : 京都大学医学研究科 成育看護学分野 鈴木 真知子(教授)
株式会社クレアクト(担当 伊藤 直弥 営業部長)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 2014年度(後期)指定公募②

地域づくりを目的とした『在宅看取りを伴う在宅医療推進』のための研究会、研修会への助成」事業

■参 加 : 教員、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、看護師、保健師、介護支援専門員、ヘルパー 等を対象としています。参加費 無料。要申し込み。昼食は各自ご用意ください。コーヒー等、準備しています

■定 員 : 50名程度(*定員になり次第、募集を締め切らせていただきます)

プログラム

10:20 ~ 受付

10:35 ~ オリエンテーション

10:40 ~ 11:40 (60分) 重度障がい児者のコミュニケーションについて(講義)

講師; 小林 春美先生(東京電機大学教授・コミュニケーション科学研究室主宰) 著書「新・子どもたちの言語獲得」

現在、人間の視線によるコミュニケーションとその発達、発話における視線と動作の協調運動等について研究を進めています。

このような知見を調べることで、ヒトの“空気を読む”性質を解き明かそうとしています。 <http://www.kobayashi-lab.rd.dendai.ac.jp/main.html>

11:40~12:40 (60分) 支援機器でこんなふうに世界が広がる!? 支援機器の特長と適応などの解説(講義)

・支援機器の必要性 ・支援機器紹介、選定と比較 ・スイッチ選定のコツ

講師; 仁科 恵美子 先生(NPO 法人 ICT 救助隊 理事)

12:40~13:10 (30分) 看取り経験を通じて支援を考える(家族のお話)

講師; 影山 勉之 先生(SMA-1、2歳4か月で亡くなる、現在、全国のご家族からの要望に応じ、ボランティアでスイッチや固定器等の制作をしている) <http://members3.jcom.home.ne.jp/shadowmt/syokukai.html>

13:10~14:10 休憩

14:10~14:40 (30分) 視線入力装置マイトビー紹介(講義)

・新たな技術によるコミュニケーション 講師: 伊藤 直弥さん(株式会社クレアクト 営業部長)

14:40~15:40 (60分) 視線入力装置の有用性、ユーザーケース(講義)

講師; 鴨下 賢一 先生(静岡県立こども病院 専門作業療法士 福祉用具・特別支援教育)

15:40~15:50 休憩

15:50~17:50 (120分) トビーコミュニケーター編集方法(実習)

・スイッチ、視線などの多様なインターフェイスに対応する画面作成ソフトの紹介と編集

講師: 伊藤 直弥さん(株式会社クレアクト 営業部長)

17:50~18:00 質疑応答、修了式

*各会場ごとに講師は異なります

【問い合わせ・申し込み】

株式会社クレアクト ☎03-3442-5401 メール info@creact.co.jp までご連絡ください

申し込み ; 以下の2つの方法から選んで、お申し込みください(先着50名)

(ウェブサイトから申し込み用紙を[ダウンロード](#))

① E-mail : info@creact.co.jp

② FAX : 03-3442-5402